２０２３年９月２８日

三井住友海上火災保険株式会社
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
ＭＳ＆ＡＤインターリスク総研株式会社

～先進技術を活用した診断・モニタリングサービスで企業のセキュリティ対策に貢献～

# 「ＭＳ＆ＡＤサイバーリスクファインダー」の提供開始

ＭＳ＆ＡＤインシュアランス グループの三井住友海上火災保険株式会社（代表取締役社長：舩曳 真一郎）、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）、ＭＳ＆ＡＤインターリスク総研株式会社（代表取締役社長：一本木 真史）は、米国インシュアテック企業 Coalition, Inc.（CEO：Joshua Motta）の先進技術を活用※1した、中小企業向けサイバーリスク診断サービス「ＭＳ＆ＡＤサイバーリスクファインダー」を開発し、補償前後のリスクソリューション※2のラインアップの１つとして提供を開始します。

本サービスの提供を通じて、日本の中小企業が抱えるサイバーリスクへの対策が十分でないという課題を解決します。ＭＳ＆ＡＤグループは、リスクソリューションのプラットフォーマーとして、社会課題の解決に貢献し、社会とともに成長することを目指していきます。

※１：ＳＭＥ向けサイバーセキュリティ・ソリューションを共同開発（２０２３年１月６日ニュースリリース）
※２：損害保険代理店によるリスクソリューションの提供開始（２０２３年３月２８日ニュースリリース）

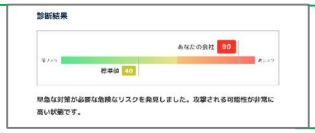
## １．「ＭＳ＆ＡＤサイバーリスクファインダー」の概要

### （１）サービスの特長

・Coalitionと共同開発した、企業のメールアドレスのドメイン※3と会社名等の企業の基本情報でサイバーリスクを診断できる技術です。
・サイバー攻撃による被害想定額や、インターネット上に流出しているパスワード情報流出件数等のセキュリティ上の課題をまとめた診断レポートを毎月１回提供します。
・また、コンピュータのソフトウェア等を診断し、対策が難しいとされる「ゼロデイアタック」※4に繋がるシステムの欠陥があれば、都度通知を行う機能もあり、緊急性の高いシステムの欠陥を適時把握することが可能となります。
・お客さまの相談窓口「セキュリティサポートデスク」を設置し、診断レポートをもとに、優先して対策を取るべき項目についてのオンライン相談を随時受け付けます。

※３：「@（アットマーク）」より右側部分
※４：ＯＳやアプリケーションの脆弱性に対応するパッチがソフトウェアの開発企業等から提供される前に、その脆弱性を悪用して行われる攻撃の総称

＜サイバーリスク診断レポートイメージ＞




**診断結果**
脆弱性のスコアが表示されます。
標準値との比較で自社の対策が十分か判断できます。

**被害想定額**
サイバー攻撃を受けた場合の被害の想定額が示されます。
サイバーセキュリティ対策にかける費用との比較が可能です。

**検出されたセキュリティ上の課題**
セキュリティ上の課題が危険度に応じて分類されます。
早急に対応すべき課題がどこに存在するかわかります。

**インターネット上に流出しているデータ**
パスワード情報の流出件数などが表示されます。
パスワードの更新など今すぐにできる対策もあります。

（２）サービス提供開始日等

| | 三井住友海上 | あいおいニッセイ同和損保 |
|---|---|---|
| 提供開始日 | ２０２３年１０月２日 | ２０２３年度中 |
| 提供者 | 補償前後のリスクソリューションの提供を委託する全国の代理店・扱者 | |
| 対象のお客さま | メールアドレスのドメインを保有・導入している中小企業<br>（保険契約の有無にかかわらず利用が可能） | |
| 費用 | 年間４２万円<br>（診断対象を絞った簡易診断レポートの発行およびレポート解説のオンライン面談は初回無償提供） | |

２．今後の展開

３社は、大手企業の関連会社やサプライチェーンへのサイバー攻撃が増加していることを背景に、本サービスの大企業向けのサービス拡充を目指すなど、サイバー攻撃による被害件数削減に貢献していきます。また、取引先である代理店のセキュリティ状況確認にも、本サービスの活用を検討していきます。

以　上